2019 年度　情報処理工学科入学生　カリキュラム体系図

	１年前期	１年後期	２年前期	２年後期	到達目標
工学基礎科目	工学基礎演習Ⅰ IT 基礎 情報リテラシ演習	工学基礎演習 II	確率・統計	機械工学概論 電気工学概論	・　数学に関する知識を示すことができる。(1-1) ・　自然科学に関する知識を示すことができる。(1-2) ・　基幹工学に関する知識を示すことができる。(1-3)
情報基礎科目	情報倫理 情報数学 計算機概論 プログラミング基礎演習 ネットワーク基礎	データベース演習 オペレーティングシステム プログラミング演習Ⅰ マルチメディア	情報セキュリティ アルゴリズムとデータ構造	情報理論基礎	・　情報処理に関する基礎知識を示すことができる。(2-1) ・　情報処理に用いる適切な技法やツールを選択し、適用することができる。(2-2) ・　コンピュータやネットワークの基礎知識を示すことができる。(2-3) ・　現実的な問題を解くためのプログラミング能力を示すことができる。(2-4) ・　学習した知識を実際の技術と関係づけて理解していることを示すことができる。(2-5) ・　技術者倫理の知識があり、自己の技術行為に責任を持つことができる。(4-2) ・　幅広い分野の上に立ち、実務をこなしていく上で必要な行動、判断が自立的にできる。(4-3) ・
情報応用科目			プログラミング演習Ⅱ コンピュータグラフィックス 画像処理	プログラミング演習Ⅲ CAD Web デザイン ネットワーク	・　情報処理に関する基礎知識を示すことができる。(2-1) ・　情報処理に用いる適切な技法やツールを選択し、適用することができる。(2-2) ・　現実的な問題を解くためのプログラミング能力を示すことができる。(2-4) ・　学習した知識を実際の技術と関係づけて理解していることを示すことができる。(2-5) ・　問題解決に必要な情報を収集し、それを基に考えることができる。(3-1) ・　習得した知識を用い、他者と協議をしながら問題を解決する方法を計画し実行することができる。(5)
実験実習科目		情報処理基礎実験	卒業研修 情報処理実験Ⅰ	卒業研修 情報処理実験 II	・　自然科学に関する知識を示すことができる。(1-2) ・　基幹工学に関する知識を示すことができる。(1-3) ・　情報処理に関する基礎知識を示すことができる。(2-1) ・　情報処理に用いる適切な技法やツールを選択し、適用することができる。(2-2) ・　コンピュータやネットワークの基礎知識を示すことができる。(2-3) ・　現実的な問題を解くためのプログラミング能力を示すことができる。(2-4) ・　学習した知識を実際の技術と関係づけて理解していることを示すことができる。(2-5) ・　問題解決に必要な情報を収集し、それを基に考えることができる。(3-1) ・　日本語（や英語）の文章を読んで内容を正しく理解することができる。また、自分の考えを適切に文書や口頭で説明でき、そのために有用なプレゼンテーション能力を身につけている。(3-2) ・　協調性を有しており、科学的・技術的課題に対し、チームワークにより問題設定・解決ができる。自分に与えられた仕事を達成するために、自己の体調・時間を管理することができる。(4-1) ・　幅広い分野の上に立ち、実務をこなしていく上で必要な行動、判断が自立的にできる。(4-3) ・　技術者倫理の知識があり、自己の技術行為に責任を持つことができる。(4-2) ・　習得した知識を用い、他者と協議をしながら問題を解決する方法を計画し実行することができる。(5)
数学関連科目	数学演習	応用数学Ⅰ 線形代数学 微分積分学	応用数学 II		・　数学に関する知識を示すことができる。(1-1) ・　自然科学に関する知識を示すことができる。(1-2) ・　基幹工学に関する知識を示すことができる。(1-3) ・　情報の専門知識を基に、自主的継続的に学習する能力を身につける。(4-4)

※到達目標の末尾の番号は育成すべき知識・能力の番号との対応を示している。